

# 真誠

学校だより  
No. 5

西東京市立  
田無小学校

令和7年  
9月1日

## 戦争の歴史を学ぶことの意味

校長 鈴木 優介

一枚の写真があります。写真の中央には、子犬を抱いて、あどけない微笑みをこぼしている少年がいます。周囲にいる四人の少年たちも、あたたかい眼差しを子犬に送っています。少年と言っても、年齢は十七、十八歳ぐらいでしょう。子犬と一緒に映る若者たちの優しい表情がとても印象的な写真です。

この写真が撮影された翌日、鹿児島県の万世陸軍飛行場にいた彼らは、爆弾を積んだ飛行機に乗って沖縄の空に向かい飛び立ちました。そしてアメリカの軍艦に体当たりして、命を落とすことになりました。時は太平洋戦争末期。この写真は、『子犬を抱いた少年兵』という名で、後世に広く知られることになりました。

私は中学生から高校卒業までの六年間、鹿児島県に住んでいました。最初のきっかけは、中学校の社会科見学だったと記憶しています。『知覧特攻平和会館』に行き、特攻隊について学ぶ機会がありました。当時の自分とそれほど年齢も変わらない多くの若者たちが、特攻隊として十死零生の無謀な作戦を遂行しなければならず、戦争の犠牲になってしまったことを知りました。展示されている遺品や遺書、特攻隊員の写真を見ているうちに、いつの間にか私の目からは涙が溢れ、頬を伝ってきたことを、今でも鮮明に覚えています。振り返ってみると、私の人生において、この時が『戦争』について本気で学ぼうと考えた最初の体験だったかもしれません。

その後は、たくさんの方の歴史の本を読み、戦時中の様子が描かれた映画作品等もすすんで見るようになりました。自分の知識が増えることにも気付くようになってきます。側面があることにも気付くようになってきます。私はさらに理解を深めようと、日本各地にある戦争の資料館や記念館を訪れるようになりました。

個人的な話が続いて恐縮ですが、昨年の八月に広島市に行き、若い時に訪れたことのある『原爆ドーム』と『広島平和記念資料館』を再訪しました。教師として、改めて戦争や原爆について学ぼうと考えたからです。資料館では、衝撃的な映像や写真だけでなく、解説文の一文一文、一語一語にも目を向け、夢中になって読み込んでいた自分がいました。私は時の経つのを忘れてしまい、結局閉館時刻まで滞在していました。時間にして三時間弱でしょうか。私が資料館を出た時には既に辺りは暗くなっており、すぐ近くにある原爆死没者慰霊碑には、おだやかな優しい明かりが灯っていました。

今年には戦後八〇年の年です。戦争を経験した世代は、当然のことではあります。が、確実に少なくなっています。今夏、多くのメディアでも、戦争の記憶の風化に関しては危機感が叫ばれていました。私たち人間は、決して完璧な生き物ではありません。何度と同じ過ちを繰り返してきただけで、悲しくも歴史が証明しています。だからこそ、二度と過ちを繰り返さないためにも、戦争の歴史や記憶を、次の世代に正しく伝え続けていくことが大切です。私は戦争を経験した世代ではありません。しかし、学校はそれができる場であると考えています。

学校では様々な『平和教育』を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、子どもたちが学べる機会を設けています。国語の教科書には、戦争の時代を扱った『ちいちゃんのかげおくり』（三年）や『一つの花』（四年）、『たずねびと』（五年）が載っています。国語だけでなく、戦争を題材にした本の読み聞かせや並行読書等も、大切な学びです。当時の歴史的背景や戦火の激しさについて、少しずつ知識を増やし、理解を深められるようになります。

六年生になると、社会科の授業で歴史について学習します。日本が戦争への道を歩み始めた経緯や外国に与えた影響の大きさ等を、具体的な資料を通して学ぶことで、子どもたちはそれまで以上に戦争について深く考えるでしょう。

また、田無小では、六年生の子どもたちを対象に、『私たちの住むまちにあった戦争』というテーマで地域の方に戦争講話をしていただくことも予定しています。ユース番組で報じられることの多い戦争が、身近な地域でも悲しい現実として起きていたことを学びます。

今はまだ、戦争について自分から学ぼうとする子は少ないかもしれませんが。しかし、大事なことは、知らなかったことを知ることであり、関心をもつことです。全てはそこから始まります。だからこそ、学校では様々な『平和教育』を継続的に実施することが大切だと考えます。子どもたちが少しずつ歴史の知識を増やし、戦争の悲惨さと平和の尊さについて自分なりに考えることができるように、学校ではこれからも『平和教育』に力を入れて取り組んでまいります。

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」

（ユネスコ憲章・前文より）

## 九月の主な行事予定

30	29	26	25	24	23	22	19	18	17	16	15	12	11	10	9	8	5	4	3	2	1
火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月
5年生遠足			4年生遠足		秋分の日	クラブ活動	13年生五校時公開 46年生六校時公開	3年生木曜六時間授業開始			敬老の日	水曜時程	水曜時程		水曜時程 わかば学級午前授業	委員会活動	避難訓練	西東京市スタートアップ期間終 午前授業 個人面談Cグループ	午前授業 個人面談Bグループ	安全指導 給食始 午前授業 個人面談Aグループ	始業式 午前授業 西東京市スタートアップ期間始

※今月のスクールカウンセラー来校日は 1日、8日、22日、29日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日の AM9:00～9:20 に 463-5902（相談室直通）または学校に連絡してください。

